

浮世絵の街・日本橋

歌麿さん写楽さん北斎さんが歩いた街

第4回

葛屋重三郎勉強会

つたじゅう

歌麿さん写楽さん北斎さんが歩いた浮世絵の街、日本橋。江戸時代、日本橋の通油町（現在の日本橋大伝馬町）には、浮世絵をはじめ唯一の情報発信ツールであった出版を担う有名版元が連なっていました。

有名絵師の歌麿・写楽・北斎等が日本全国へそして世界へ羽ばたくきっかけとなった地が、日本橋となります。

その絵師達を見出し、今でいうプロデュースをしたのが葛屋重三郎（つたやじゅうざぶろう）です。

2025年の大河ドラマは、この葛屋重三郎を描いた物語。

この機会に葛屋重三郎の事、浮世絵等の江戸文化の事、そして我が街 日本橋の事を学び知る場として「葛屋勉強会」を立ち上げました。

第4回葛屋勉強会を開催いたします。地域の皆さまのご参加をお待ちしております。

日時：2025年3月7日(金) 19時～20時20分頃
(開場 18時30分)

場所：常盤小学校別館2階 体育館 (小学校とは入口が異なります)
(中央区日本橋本石町4-4-20)

定員：200名(申込多数時は、一部立ち見参加を予定しています。)

申込期限：2025年2月28日

参加費：無料

参加方法：QRコードからアクセスいただき、お申込締切後に事務局から参加案内をメールでお知らせさせていただきます。

講師：北川 瑠菜氏(大河ドラマ べらぼう 助監督)

内容：【助監督の“べらぼう”な日々】

2025年1月に放送を開始したNHK大河ドラマ『べらぼう～葛屋重三郎 華乃夢断(つたじゅうえいがのゆめばなし)～』で主人公として取り上げられた「葛屋重三郎」。

庶民を主人公に、戦のない江戸時代中期を描く大河ドラマは初めてのこと。助監督目線で大河ドラマの見どころや“べらぼう”におもしろい舞台裏をご紹介します。



通油町 葛屋重三郎の耕書堂：東横INN日本橋馬喰町前

主催：葛屋勉強会（葛屋重三郎を学ぶ日本橋の会） 事務局：03-3669-3093（日本橋大伝馬町郵便局内 星）

協力：大伝馬町一之部町会、大伝馬町二之部町会、大伝馬町三之部町会、日本橋二の部連合町会、中央区